

松下村塾

(世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」の構成資産)

時代をさきがけた

吉田松陰

— 明治日本の産業革命に果たした役割 —

令和7年 10月2日(木) ~ 12月2日(火)

世界文化遺産登録10周年記念
松陰神社宝物殿至誠館特別展



松陰神社宝物殿
至誠館

〒758-0011 山口県萩市椿東1537 TEL 0838-24-1027 FAX 0838-24-1028

◎開館時間／午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

◎休館日／年中無休

◎入館料／一般500円(400円) 中・高生250円(200円) 小学生100円(80円)

※()内は20人以上の団体料金

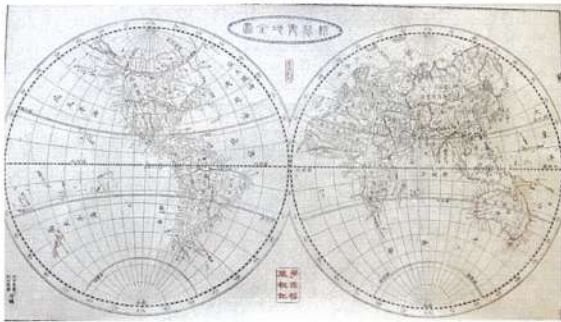
世界文化遺産登録10周年記念
松陰神社宝物殿至誠館特別展

時代をさきがけた

吉田松陰

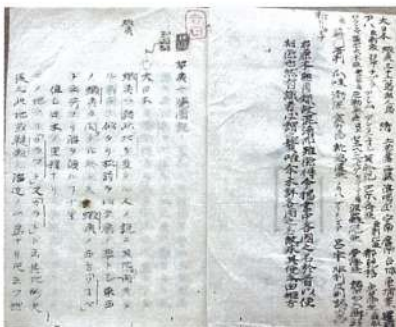
明治日本の産業革命に果たした役割

今年は、「明治日本の産業革命遺産」が世界文化遺産に登録されて10周年にあたります。萩市には、萩城下町・萩反射炉・恵美須ヶ鼻造船所跡・大板山たたら製鉄遺跡・松下村塾の5つの構成資産があります。なぜ、松下村塾が世界文化遺産の構成資産になったのでしょうか。今回の特別展は、松下村塾を主宰した吉田松陰の著作や、松陰が読了・写本した書籍、さらに松陰が指導した塾生たちを展示・紹介することによって、その理由を解き明かします。



新製輿地全図

地理学者の箕作省吾が編訳し、弘化元年（1844）に刊行された世界地図です。松陰は、この地図を海外密航に挑戦する際に所持していました。後に、松下村塾で塾生たちに世界情勢を解説する際にもテキストとして使用しました。



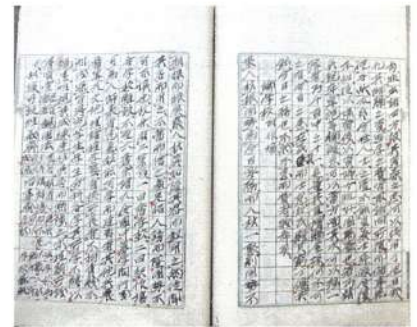
華夷一覽図説

地理学者の山村才助が著した諸外国の地理書で、弘化3年（1846）に17歳の松陰が筆写したものです。表紙の見返しには、松陰の作った目次として諸外国の名称が記され、外国について知ろうとする意欲がうかがえます。



幽囚録

安政元年（1854）松陰が伊豆下田での海外渡航に失敗し、萩の野山獄で書かれた著作です。「一人の優秀な人物を海外に派遣し、造船・売船のことを調査・精通させ」と、人材の海外留学と造船技術の修得を提唱しています。



論学校（学校を論ず）

安政5年（1858）松陰は、「人材を集めて国を盛んにすることは今日の重要な務めで、そのため学校を盛んにし、作場（工場・作業場）を起こすこと」と、学校と作場を連携させ、人材と産業の育成をはかるべきだと述べています。

松陰神社宝物殿

至誠館

〒758-0011 山口県萩市椿東1537
TEL 0838-24-1027 FAX 0838-24-1028
e-mail info@showin-jinja.or.jp



交通案内

山口宇部空港 (東京から約85分)	宇部市営バス 徒歩 約10分	新山口駅 JR宇部線 約40分	防長バス・JRバス 約70分	萩バスセンター 約15分	松陰神社前
		乗合タクシー(要予約) 約90分			
			防長バス 約75分	益田駅 バス 約10分	萩・石見空港 (東京から約80分)
			JR山陰本線 約55分	乗合タクシー(要予約) 約90分	
			東萩駅 タクシー 約5分		松陰神社前

自家用車でお越しの方には、境内と神社前の交通公園に無料駐車場があります。

会期中、このチラシをご持参していただくと、5名様まで至誠館の入館料が2割引となります。

なお、他の割引との併用はできません。